

教科	数 学	学年	1 年	標準授業時間数	105 時間 (週3時間)
----	-----	----	-----	---------	---------------

目 標	教科目標	数量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさ、数学的な見方や考え方のよさを知り、それらを進んで活用する態度を育てる。
	具体目標 (到達目標)	<p>(1) 数を正の数と負の数まで拡張し、数の概念についての理解を深める。また、文字を用いることの意義及び方程式の意味を理解するとともに、数量などの関係や法則を一般的にかつ簡潔に表現し、処理できるようにする。</p> <p>(2) 平面図形や空間図形についての観察、操作や実験を通して、図形に対する直観的な見方や考え方を深めるとともに、論理的に考察する基礎を培う。</p> <p>(3) 具体的な事象を調べることを通して、比例、反比例の見方や考え方を深めるとともに、数量の関係を表現し考察する基礎を培う。</p>

評 価	観 点	数学への 関心・意欲 ・態度	25%	さまざまな事象を数量や図形などでとらえたり、それらの性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考えることに関心をもち、意欲的に問題の解決に活用しようとする。
		数学的な 考え方	15%	数学的活動を通して、数量、図形などについての基礎的な知識と技能を確実に習得するとともに、それらを活用しながら、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を見通しをもって論理的に考察する。
		数学的な 表現・処理	40%	正の数・負の数の四則計算や基本的な図形の作図ができ、数量の関係や法則を方程式などを用いて表現し処理したり、図形の計量に用いたりするなど、図形や数量関係を的確に表現したり数理的に処理したりする。
		数量・図形 などについて の知識・理解	20%	正の数・負の数、文字を用いることの意義、一元一次方程式、平面図形についての性質や関係、空間における図形の位置関係、比例・反比例の関係を理解している。
	材 料	定期テスト・章末テスト・小テスト・提出物・授業態度 など		
	方 法	各評価材料を観点別にしながら評価する。		

学 習 方 法	使用教材	教科書・完全問題集(正進社)・その他プリント	
	学習形態	1学級を2学級に再編成した少人数学級→はつらつプラン	
	学習の 進め方	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の例題や問題を中心として授業を進める。</li> <li>演習問題は、副教材を利用して行う。</li> <li>ドリル学習では、プリントを利用して行う。</li> <li>生徒がノートを整理しやすいように板書を丁寧に行い、書き写す時間を確保する。</li> </ul>
家庭		<ul style="list-style-type: none"> <li>授業のノートに目を通し、学習した内容を確認する。</li> <li>副教材を利用し、授業の復習をすることで、学習したことが定着するようにさせる。</li> </ul>	

年間授業計画

月	単元名・項目		学習のポイント
4	1. 正の数・負の数Ⅰ (1) 正の数・負の数 ①符号のついた数 ②数の大小 (2) 加法・減法 ①加法	1 8	正の数と負の数について具体的な場面での活動を通して、その四則計算ができるようになる。 ・負の数の必要性を知り、正の数と負の数の意味を理解する。 ・正の数と負の数の四則計算の意味を理解し、簡単な計算ができる。
5	②減法 ③加法と減法の混じった計算 まとめの問題		
6	2. 正の数・負の数Ⅱ (1) 乗法・除法 ①乗法 ②除法 ③四則の混じった計算 まとめの問題	1 2	
7	3. 文字式 (1) 文字式 ①文字を使った式 ②文字式の表し方 ③式の値	1 5	文字を用いて関係や法則を式に表現したり式の意味を読みとったりする能力を養うとともに、文字を用いた式の計算ができるようになる。 ・文字を用いることの意義を理解する。 ・文字を用いた式における減法の計算ができる。 ・一次式の加法と減法の計算ができる。
9	(2) 式の計算 ①1次式 ②1次式の計算 まとめの問題		
10	4. 1次方程式 (1) 方程式 ①等式と方程式 ②等式の性質 ③1次方程式の解き方 (2) 1次方程式の利用	1 5	方程式について理解し、一元一次方程式を用いることができるようになる。 ・方程式及びその中の文字や解の意味を理解する。 等式の性質を見だし、方程式がそれに基づいて解けることを知る。 ・簡単な一元一次方程式を解くことができ、それを利用できる。
11	①1次方程式の利用 まとめの問題		
12	5. 比例と反比例 (1) 比例 ①比例 ②座標と比例のグラフ (2) 反比例 ①反比例 ②反比例のグラフ (3) 比例と反比例の利用 ①比例と反比例の利用 まとめの問題	1 6	具体的な事象の中にある二つの数量の変化や対応を調べることを通して、比例、反比例の関係を見だし表現する能力を伸ばす。 ・比例、反比例の意味を理解する。 ・座標の意味を理解する。 ・比例、反比例を表、式、グラフなどで表し、それらの特徴を理解する。 ・比例、反比例の見方や考え方を活用できる。
1	6. 平面図形 (1) 対称 ①線対称と点対称 ②いろいろな図形と対称 (2) いろいろな作図 ①基本の作図 ②作図の利用 まとめの問題	1 4	基本的な図形を見通しをもって作図する能力を伸ばすとともに、平面図形についての理解を深める。 ・線対称、点対称の意味を理解するとともに、対象性に着目して、平面図形についての直感的な見方や考え方を深める。 ・角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を理解し、それを利用することができる。 ・図形を観察、操作や実験を通して考察し、空間図形についての理解を深める。また、図形の計量についての能力を伸ばす。
2	7. 空間図形 (1) 空間図形の基礎 ①いろいろな立体 ②直線や平面の位置関係 ③平面図形が動いてできる立体 (2) 図形の計量 ①立体の展開図 ②円とおうぎ形 ③立体の表面積 ④立体の体積 まとめの問題	1 4	・空間における直線や平面の位置関係を知る。 ・空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されているものにとらえたり、空間図形を平面上に表現したりすることができる。 ・扇形の弧の長さや面積及び基本的な柱体、錐体の表面積と体積を求めることができる。
3			
合計時数		1 0 5	

